

教弘会報

埼玉

霜 秋 号

おかげさまで令和8年度創立
70周年

No. 278

令和 7(2025) 年 11月 28 日 発行

最終受益者は子どもたち

編集・発行:



公益財団法人

日本教育公務員弘済会埼玉支部

株式会社 埼玉教弘



学校から徒歩3分のところにある長沢川で3年生が「生き物見つけ」にチャレンジ。今年はこの川で「着衣泳」も実施。
飯能市立奥武蔵小学校（本文 p.3）

巻頭言

「70年の絆を胸に、未来へ繋ぐ教育の灯」^{としび}

常任幹事兼事務局長 小出 和重

p.2

重要 令和8年度からの
福祉事業対象者の
変更について p.2

新設校記念品贈呈式

杉戸町立杉戸南中学校
校長 石田 茂生

p.2

学校NOW

飯能市立奥武蔵小学校
校長 野村 浩之

p.3

私の授業づくり

秩父市立荒川中学校
教諭 関根 祐貴

p.4

「弘済会埼玉 交通安全推進会」
は学校の交通安全教育を支援
しています p.4

70th プレ企画

夢と笑顔の応援団
～ジブラルタ生命～

p.5

第25回 LCの訪問記
私の出会った素敵な学校
埼玉県立児玉高等学校

p.5

ドリームナイト・アット・ザ・ズー
2025 p.6

70th プレ企画

教弘まなびや

～WEBで加入できるようになりました～

p.7

団体扱自動車保険 p.7

私の読んだ本・読者プレゼント
「兎の眼」

秩父市立吉田こども園
保育教諭 曾我 真鈴

p.6

セカンドライフセミナーを
開催 p.8

冬休みには、ライフプラン
のご検討を！ p.8

日教弘の会員に
なりましょう p.8

「自分自身の対応が学校の印象になる」

（「夢と笑顔の応援団～ジブラルタ生命～」 p.5 から）



70 年の絆を胸に、未来へ繋ぐ教育の灯^{ともしび}

公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部

常任幹事兼事務局長 小出 和重^{こ い で か ず し げ}

(前埼玉県立川越高等学校校長)

この3月で教員生活にピリオドを打ち、公益財団法人日本教育公務員弘済会埼玉支部(以下、当支部という)に転職してまいりました。教員時代は教諭、教育行政管理職と実に多様な職位・職域を経験させてもらいました。どこで、何をしても変わらず持ち続けた不易なるものが、「教育の目的は、将来、生徒が自らの手で幸せをつかみ取れるようにすること」であり、「教育活動の答えは生徒が持っている」という教育信条でした。弘済会の理念は、「最終受益者は子どもたち」です。その理念を、今までの教育信条と重ね合わせながら、教職員の皆様の福利厚生充実と、埼玉県教育振興に貢献することを使命としてチャレンジを継続してまいります。

教育現場は常に変化と挑戦の連続であり、子どもたちの成長を支える教職員の皆様は日々、情熱と創造性をもって教育活動に取り組んでおられます。変化の激しい時代においては、子どもたちの well-being (幸福感、心身の健康、社会的つながりなどの良好な状態)を育むとともに、教職員の皆様ご自身の well-being を大切にすることが重要です。

そして、「教育関係者のオール組織」として設立された当支部は、令和8年9月に創立70周年を迎えます。埼玉弘済会(当支部と(株)埼玉教弘の総称)では、創立70周年準備委員会(チーム70th)を立ち上げ、

創立70周年の理念を「会員である教職員の皆様に喜んでいただく」、同事業イメージを「これまでの70年に感謝し、今を喜び、これからに繋ぐ」としました。すでに70周年プレ企画として動き出している「30歳誕生祝の新設」、「『教弘まなびや』の制度変更」等に加え、これまでの感謝の気持ちと未来への決意を込めて皆様の心に温かい灯をともしせるような記念事業をお届けしてまいります。

その一つとして令和8年度からの実施を計画しているものが教育研究助成事業の改善です。教育研究助成事業は現在、6事業の中から2事業まで申請できる形式をとっていますが、変化が激しく価値観の多様化した現代においては、この6つの事業枠にはめることは学校の独自性、自主性を阻害するのではないかと、また、事業申請を2回行うことは、学校に事務負担を強いているのではないかと懸念があります。そこで枠を設けない形で事業を一本化し、助成金額を引き上げることで、時代に即した、教職員の皆様に喜んでいただける事業へと改善してまいります。

創立70周年を契機として、教職員の皆様との絆をより一層深めるとともに、未来へ繋がる新たな一歩を踏み出してまいります。皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

重 要

令和8年度からの
福祉事業対象者の
変更について



令和8年度から、福祉事業をご利用いただける方が「ジブラルタ生命の教弘保険に1口以上加入されている方」に変更となります。詳細につきましては、令和8年2月発行予定の「教弘会報埼玉 No.280」でお知らせいたします。

新設校記念品贈呈式



杉戸町立杉戸南中学校

いしだ しげお 校長
石田 茂生 校長

杉戸南中学校は、東中学校、広島中学校の統合により、令和7年4月に開校しました(生徒371名14学級)。校地・校舎は広島中学校のものを活用していますが、両校の伝統を受け継ぎながら新たな歴史を創り上げていこうとしています。

新設校記念品贈呈式は8月22日(金)に、すべての先生方に集っていただき、職員室で行われました。贈呈したスポットクーラーを有効活用し、暑い季節を乗り越えて、杉戸南中学校の基本理念である「大志を抱いて自らの人生を切り拓き、共に未来社会を創造していく人を育てる」教育活動を一層推進していただければ幸いです。



教職員の皆さんとスポットクーラーを囲んで



飯能市立奥武蔵小学校

(〒357-0203 埼玉県飯能市長沢26-2)
児童数：87名 (R7.10.1 現在) 学級数：8
TEL 042-978-1214 FAX 042-978-2232
<https://hanno-okusho.notion.site/>



校舎

本校は、令和元年度に東吾野小学校、西川小学校、吾野小学校が統合され奥武蔵小学校として開校し、今年度7年目を迎えています。また、小学校の開校の際には隣接している吾野中学校も奥武蔵中学校とし、両校で施設分離型小中一貫校と位置づけ、奥武蔵創造学園としました。

一方で本校では毎年、飯能市立学校小規模特認校として市内小学校から児童を募集しています。現在、全児童の約20%が特認校制度を利用し、本校へ電車等で通学しています。

本校は、誰一人取り残さない教育を目指し、学びの共同体が推進する学び合いを授業の核として研修を進めています。授業の中で「わからない。」が素直に言える、そして探究的な学びを子どもと先生がいっしょに取り組める学校を目指して教育活動を進めています。

(校長 野村 浩之)

学校・家庭・地域が一体となった教育活動の推進

●学び合う授業の充実

令和6年度から全校で「教材」をよく見る意識を育てるために「アートの時間」に取り組んでいます。「アートの時間」は毎月1回、業前の時間に題材を示し、20分間対象をよく見てA5サイズの画用紙に鉛筆1本でひたすら描きます。

また、「学校の中心は授業」をモットーに子どもたちが主体的に学べるように学び合いを進めています。年に1度は教職員全員が授業を公開し、互いに授業力の向上を目指しています。先生は子どもたちのコーディネーター役として話す量を少なくしたり、深い学びとなるような足場掛けを考えたりして研修を深めています。



アートの時間
テーマは「石」。思い思いの石をもってきて描きます。集中して取り組んでいます。

児童の声

友達に「教えて。」というすぐに教えてくれて、逆に友達がわからない時はぼくが教えると「ありがとう。」といってくれます。勉強は苦手だけど、友達と教える合と次もがんばろうという気持ちになります。

●学校応援団の推進

学校応援団は、「できる時にできるだけ」を合言葉に持続可能な組織として保護者や地域の方27名が加入しています。毎週木曜日の業前には応援団の方による読み聞かせを行っています。毎回子どもたちも楽しみにしています。

また、今年度は校地に学校給食農園をつくり、小松菜等の葉野菜やかぼちゃを栽培し、食材として給食に提供することができました。

さらに、普段手の届かない体育館2階の清掃や校庭の除草、体育祭の準備等でご協力いただきました。



読み聞かせ
1年生の子どもたちはいつも真剣なまなざしで話を聞いています。

児童の声

いつも学年に応じたいろいろな本で読み聞かせをしてくれます。特に心に残っていることは広島での原爆の話です。本だけでなく、他の資料も用意してくれてありがたかったです。

●小中連携 奥武蔵創造学園

開校当時から奥武蔵創造学園として様々な連携事業に取り組んでいます。

昨年度までは、小中合同で音楽祭や地域清掃、運動会の種目参加、持久走大会、避難訓練等の学校行事に取り組んできました。

今年度はさらに、入学式や体育祭も合同で取り組むことができました。小中学校がいっしょに取り組むことにより保護者や地域からは、「にぎやかになった。」「元気が出る」とよい評価をいただいています。

また、学び合いでの授業を小中お互いの先生が見合う取組を進めています。



地域清掃
中学生が小学生に隔々まできれいになるように優しく教えます。

児童の声

小中合同での地域清掃では中学生とたくさんお話ができ、中学校での生活を知るよい機会となりました。これからも中学生といっしょに行う行事が増えたいです。

●体育的活動の充実

本校児童の8割近くは毎日通学バスで通っています。そのため、全教育活動を通じた体力の向上は本校の課題になっています。そこで本校では毎朝、全校で朝マラソンを行っています。毎週水曜日にはスポーツタイムとして長縄やドッジボールなどをし、その後にコーディネーショントレーニングという体幹を鍛える運動を全校で行っています。

また、8月には、子どもたちが休み時間に遊びながら体力がつくように2つの手作り遊具を作成しました。一つは投力を育成する「投げるん君」、もう一つは丸太に飛び乗って渡っていく「丸太渡り」です。これらの手作り遊具で遊びながら体力をつけていってほしいと思います。



朝マラソン
毎朝取り組んでいます。

児童の声

朝マラソンを毎日続けることによって昨年より体力がつきました。スポーツタイムがある時には、いつもより体を動かすので更に頑張ろうという気持ちになります。

「私の授業づくり」

中学校 社会科



秩父市立荒川中学校
教諭 関根 祐貴



はじめに

私は、地域の良さを理解し、地域に誇りを持たせる授業づくりを心がけています。生徒アンケートにおいて、「秩父市は魅力のある地域か」という問いに対しては「そう思う」という回答が多くありますが、「20年後も秩父市に住んでいたいと思うか」という問いに対しては、「あまり思わない」という回答も多くあります。このような少子高齢化の進む秩父市にとって、「秩父夜祭」は地域の希望であると考え、教材として取り上げました。

「秩父夜祭」の授業づくり（公民的分野・地方自治）

単元を貫く問いを「ユネスコ無形文化遺産（世界遺産）の秩父夜祭を持続可能にするには秩父市としてどのようにしていけばよいか？」と設定し、少子高齢化によるお祭の担い手不足の問題に対して、世界遺産ではなくなった時、秩父市はどうなるのかシミュレーションしました。秩父夜祭の担い手がなくなってしまうと、神事を行うことができず、世界遺産としての危機となり、秩父市にとって大きな問題となることを理解させました。

その後、自由な発想から政策を絞り、提案内容をグループごとに1つにまとめ、最後には「祭り移住パック」などの政策を提案し、ゲストティーチャーである文化財保護課の担当職員には生徒が構想した政策に対して、行政の専門家としての評価をお願いしました。



ゲストティーチャーによる政策の評価

中学校社会科 3 分野を貫く地域素材の教材化

分野ごとの関連づけ、結びつきを意識した、3年間にわたる3分野を貫く単元構造図を作成し、「秩父夜祭」を通して歴史・地理・公民という3分野を通して社会的事象を見ていく力を養うことができるシステムを構築しました。

おわりに

授業後のアンケート調査の結果、地域で起こっている問題への関心が高まり、社会をより良くするために何をすべきか考える生徒が増えました。また、秩父市を魅力がある地域と感じる生徒が増えました。県内の小学校の先生方の中にも秩父夜祭について熱心に調査している方が多くおり、小学校でも県内の伝統行事として「秩父夜祭」を単元で学習することができると考えています。

【生徒提案資料】



祭り移住パック

※「祭り移住パック」とは
秩父夜祭のために移住してくる人に対して、就職支援、住居補助、町内会への案内、屋台の組み立て方パンフレットの作成・配布など特別な補助や支援を行うという生徒考案の政策。

夜祭ドリル

※「夜祭ドリル」とは
秩父夜祭に関する問題を計算ドリル形式で作成した問題集。小学生などの子どもたちに、秩父夜祭への関心を深めて、「出てみたい」という想いをもって、曳き踊りや歌舞伎など伝統芸能の後継者不足の問題を知ってもらうことが目的。



生徒の振り返り

夜祭がなくなってしまうように、自分の班では移住者を増やすことを考えました。他の班では学校にクラブ活動を取り入れることや「祭り移住パック」を提案していて、対策って考えれば色々あるんだなと思いました。

1週間で「夜祭ドリル」を完成させることができて良かったです。夜祭で地方自治を学ぶこともできて良かったです。身近で分かりやすかったし、発想力が鍛えられました。やっぱり、税金の問題は大事なんだなって思いました。

「弘済会埼玉 交通安全推進会」は学校の交通安全教育を支援しています

4月23日(水)に川口市立並木小学校で3年生88名を対象にした「交通安全教室」が開催され、交通安全推進会の役員が参観しました。

※雨天のため体育館で実施

講師：川口市役所交通安全対策課職員4名
テーマ：「自転車の安全な乗り方」
内容：1 自転車点検の仕方
2 安全な乗り方
3 約束

子どもたちは、講師の質問に積極的に挙手をして、自転車の安全な乗り方等を学びました。

児童の感想

私の知らない自転車のルールがたくさんあってびっくりしました。これからは、警察官さんにたくさん教えてもらったことを覚えて安全に自転車に乗れるように頑張ります。

自転車の乗り方について勉強していることが分かりました。昨日までは、自転車の点検の仕方が分かりませんでしたが、自転車はこんなにも命に係わる乗り物であることが分かりました。



自転車点検の合言葉「ブタベルサハラ」を学習する子どもたち

※ブ：ブレーキ、タ：タイヤ、ベル：ベル、サ：サドル、ハ：ハンドル/反射材、ラ：ライト

※「弘済会埼玉 交通安全推進会」とは、埼玉支部と埼玉教弘が協力して県内の児童・生徒の交通安全の推進を目的として、平成16年に設立され、交通安全に関する講師の派遣や共済・保険の推進等の事業を実施しています。

川越市の小中学校初任者が「社会人としてのコミュニケーションマナー研修」を受講

5月7日（水）に川越支社の中島正男マーケティングディレクターと川越第一営業所の根本拓也所長が講師になり、川越市の初任者 69 名を対象に「社会人としてのコミュニケーションマナー研修」が実施されました。二人は、社会人としてふさわしい身だしなみや態度といった「視覚的な印象」の大切さや、「電話対応」で気をつける話し方・聞き方などを具体的に説明し、最後には先生と保護者を想定した演習を実施しました。受講者は、「正しく」「分かりやすく」「感じよく」話すことの大切さ、「傾聴」「話の復唱」といった聞き方にも注意して熱心に取り組みました。

講義を終えた後、講師の二人は「先生方が大変熱心に聴いてくださってやりがいを感じました。ぜひ、素晴らしい先生になって活躍していただきたいと思います。」と語っておりました。

受講者の振り返り

講義を通して、保護者対応はもちろんですが、児童の前でも意識してお手本となれるよう心がけていきたいと思いました。社会人として当たり前のマナーを守りつつ、一流になれるよう努めていきたいです。また、「自分自身の対応が学校の印象になる」ということを聞き、まさにその通りだと思ったので、学校外部の方と関わる際には、より一層話し方や態度に注意してまいります。

講義を受講し、社会人としての自覚をより一層強くもつことができました。勤務を始めてから一カ月が経過しますが、電話対応に関しては特に苦手意識が強く、日々悩んでおりました。本日の講義を通し、自分の課題に気付けたため、講義を生かし、社会人として通用する振る舞いが自然にできるよう努めてまいります。また、保護者の方への誠意と日頃ご指導をくださる校長先生や諸先輩方への感謝を忘れず、社会人としてのマナーを身に付けていけるよう学びを深めていきます。



メラビアン法の原則を説明する根本所長



社会人としてのマナーを熱く語る中島MD

ジブラルタ生命で初任者、中堅教諭が企業体験研修を受講

今年度も以下のように、本県の小・中・高校の先生方が、ジブラルタ生命保険株式会社で企業体験研修を受講されました。



中堅教諭に弘済会の説明をする渡辺参事

期日	受講者	人数	内容	会場
7月30日	高校の初任者	2	・企業理念 ・生命保険の基礎知識	春日部営業所
7月24、25日	小・中学校の中堅教諭等	10	・弘済会の公益事業 ・弘済会とジブラルタ生命との関係	埼玉第2支社
8月4、5日		11	・ビジネスマナー	埼玉第2支社 など

参加された先生方は、学校とは異なる環境での研修に熱心に取り組み、以下のような感想を持たれました。この研修を活かして一層ご活躍されることをご期待申し上げます。

受講者の感想

〈Aさん〉

ジブラルタ生命の社員の皆さんは、Core Value という企業理念に基づいて働かれていると伺い、私たち中堅になった今こそ、「さいたま市の教師像」や「学校教育目標」を今一度深く認識し、目標達成に邁進していかなければならないと思いました。

〈Bさん〉

2日間の研修を通して、本当に考えさせられ参考になることばかりでした。プロの仕事を教えていただき背筋が伸びた思いです。早く子どもたちや保護者に還元したいです。

〈Cさん〉

弘済会は、よりよい教育のために貢献されている組織であると認識を深めました。事業内容についても資料をじっくり読み返します。また、ジブラルタ生命との協力関係も理解することができてよかったです。

LC の訪問記 私の出会った素敵な学校



第25回

埼玉県立児玉高等学校

熊谷支社 深谷第二営業所

LC (ライフプラン・コンサルタント)

たかはし こうすけ よしだ なお こ
高橋 宏輔 吉田 奈緒子

ジブラルタ生命保険(株)

熊谷支社 深谷第二営業所

所長 小林 大祐

〒366-0026 深谷市稲荷町 2-10-18-2F

TEL 048-573-1616

児玉高校では、3年間を通して「卒業後も社会で活躍できる人材の育成」を目指しています。そして、総合的な探究の時間「こだま学」を中心に、生徒一人ひとりが自分の未来を考え、学びを深めています。

地域や自分自身を「知る」、課題を見つけて「探る」、成果を実社会で「活かす」という流れで、3年間を通して主体性や探究心を育んでいきます。

「こだま学」ではあえて学科ごとにクラスを分けて、多彩な発想や価値観を持つ仲間と学ぶことで、新しい気づきや協働する力が自然と身につくのも大きな魅力の一つです。

また、児玉高校は「こだま学」のような「探究のやり方」を重視して、普通科・専門学科を問わず幅広い資格に挑戦できるため、進学・就職のどちらにも大きな力となります。

私たちも、児玉高校の生徒の姿勢に学び、主体性と探究心を大切にして先生方のお役に立てるよう活動させていただきたいと思います。



「こだま学」の探究学習や地域の方からお話を聞く際に活用する地域協働棟



左から高橋LC、吉田LC、小林所長、植田雅浩校長先生、浅賀忠夫教頭先生



ジブラルタ生命 協賛

ドリームナイト・アット・ザ・ズー 2025

～特別支援学校で学ぶ子どもたちとその家族の皆さんをご招待～

今年もドリームナイト・アット・ザ・ズー※が、9月22日(月)に埼玉県こども動物自然公園(東松山市)で開催されました。

当日は、天候に恵まれ涼やかな風が吹く中を、子どもたちをはじめ保護者・きょうだい・祖父母の皆さま約250名の方々が来園され、夜の動物園という静かな環境の中でコアラ・キリン・クオッカなどを興味深く見ることができたほか、ポニーのえさやり体験などのふれあいを楽しみました。

この取組を協賛したジブラルタ生命からは、川越及び熊谷支社から約50名の所長や学校担当LCがボランティアで参加し、受付をはじめ道案内やシール配り、記念品のプレゼント、スタンプラリーなどのお手伝いをしました。

来園した皆さまからは、「とても楽しかったです。また来年も来ます!」「ゆっくりと動物を見ることができました。ふれあいもできて大満足です!」等の嬉しい感想をいただきました。

ボランティアで参加したLCは、「清々しい気持ちをいただきました。また来年も参加します!」と笑顔で話していました。

※1996年にオランダ・ロッテルダム動物園で始まり、病気や障がいのある子どもたちとご家族の皆さんを夜の動物園に招待して、楽しいひと時を過ごしていただくことを理念としています。



ボランティアで参加したLCの皆さん



閉園時、来園された皆さんを笑顔で見送るLCの皆さん

シリーズ 私の読んだ本 ◆No.92

「兎の眼」

秩父市立吉田こども園

保育教諭

曾我 真鈴



(敬称略)

小学校教師の小谷先生がクラスの子どもたちと向き合い、教師として成長する物語です。大人から見たら、困った子に見える銀三やみなこの思いを汲み取ろうとする小谷先生の姿が、とても素敵だと思いました。さらに、小谷先生がどんな子どもでもクラスの仲間として大切に、子どもたちもお互いを大切にする心を育てている姿が丁寧に書かれ、引き込まれました。

保育教諭として、悩むこともあります。一人一人の子どもの思いに寄り添うことを心がけたいと思います。また、子どもたちが自分も相手も尊重し、助け合って生きる力を育めるよう、研鑽を積んでいきたいと思わせてくれる一冊でした。



灰谷健次郎 著
角川文庫

シリーズ「私の読んだ本」

読者プレゼント

「私の読んだ本」で紹介した本を
読者の皆さんにプレゼントします。

「兎の眼」
角川文庫
3名様

応募締切…令和8年1月16日(金) 必着

※応募者多数の場合は抽選。発表はジブラルタ生命学校担当LCのお届けをもって代えさせていただきます。

応募要領

●右記二次元コードを読み込み、お名前・ご勤務先を入力の上、次のいずれか一つをご投稿ください。

- ①「私の読んだ本」の記事の感想
- ② 本会報「教弘会報埼玉 No.278」の感想
- ③ その他、趣味・旅行・健康づくり・ストレス発散法・お勧めの本・耳よりの話など何でも可

※ 感想や投稿記事は、応募者のご了解の上で「教弘会報埼玉」や「かわらばん HAPPY VOICE!」に掲載することがあります(薄謝贈呈)。

☆ プレゼントの当選は年度内1回に限らせていただきます。

奮ってご応募
ください。

ご応募は
こちらから



つっしんで
ご冥福をお祈り
いたします

ご逝去 ご尊名 所属等

令和7年

6月	ト部 廣子	友の会(本庄市)
〃	小池 智也	友の会(川越市)
〃	小林 弘	友の会(さいたま市)
〃	斎藤 隆	鶴ヶ島市立新町小学校
〃	島崎 弘幸	埼玉県立児玉高等学校
〃	清水 章夫	友の会(さいたま市)
〃	千野 司	友の会(東松山市)

(敬称略)

ご逝去 ご尊名 所属等

6月	原口 和夫	友の会(坂戸市)
〃	布施 公子	友の会(小鹿野町)
〃	武者 章	友の会(さいたま市)
〃	吉野 政治	友の会(東松山市)
7月	朝比奈英進	友の会(本庄市)
〃	安部 真平	友の会(深谷市)
〃	岸田 政明	友の会(寄居町)
〃	黒田 富子	友の会(深谷市)

ご逝去 ご尊名 所属等

7月	高坂 秀男	友の会(東松山市)
〃	齋藤 康子	友の会(県外)
〃	千野田ヨシ子	友の会(深谷市)
〃	徳茂亜希子	小鹿野町立小鹿野小学校
〃	福田 惇	友の会(杉戸町)
〃	増田 英一	友の会(神川町)
8月	丸山 中子	友の会(深谷市)



教職員業務の遂行に起因した損害賠償請求に！

2025年8月～2026年7月
加入のご案内

公益財団法人日本教育公務員弘済会 団体保険

教弘まなびや[®] [教職員賠償責任保険]

教職員個人が訴えられることも…

■授業中に生徒がケガ、先生個人に損害賠償請求。

損害賠償金 お見舞金

■生徒を注意したら人格権の侵害と訴訟を起こされる。

争訟費用 損害賠償金

■卒業アルバムの校正に誤りがあり、追加費用を負担した。

損失を補填する費用

1 教職員個人の争訟費用(弁護士費用等)および損害賠償金を補償！

2 初期対応費用も補償！(身体障害を被った被害者への見舞金等)

3 遡及補償 初年度加入日より前に行った行為に起因する請求も補償！

4 延長補償 教職員でなくなった後になされた請求についても5年間補償！

5 卒業アルバムの校正ミスなどの教職員業務で個人が負担せざるを得なかった費用を補償！

加入者(=被保険者)資格について

(公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方)
公立学校、国立学校および私立学校の教職員*

〔ご注意〕教育委員会・教育事務所の職員の方は、被保険者になりません。

※「教職員」とは、学校教育法に規定する学校の校長および教員ならびに部活動を指導する教育関係の職員等



もっと詳しい内容を知りたい方は、こちらのパンフレットをご覧ください

このご案内は、「教職員賠償責任保険」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険㈱におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

自動更新 2025年8月1日始期 2025年8月1日午後4時～
2026年8月1日午後4時(1年間)中途加入の補償期間 毎月20日締切で、
締切日の翌月1日午前0時～2026年8月1日午後4時

募集期間 2025年6月1日(日)～2026年6月20日(土)

WEB 加入手続きは
こちらから<https://www.nikkyoko.or.jp/index.html>

2025年2月作成 募集文書番号24T-002273

教弘まなびや(教職員賠償責任保険)の資料請求をいただいた方に粗品をプレゼントいたします！

お申し込み・
お問い合わせは代理店 (株)埼玉教弘 損害保険課 TEL 048-822-7553 (直通)
引受保険会社 東京海上日動火災保険(株) 担当課 埼玉中央支店マーケット開発チーム TEL 048-650-8381

団体扱 自動車保険 (新・教弘自動車保険)

今すぐ簡単
見積り依頼一般契約と
比較して
約 18% 割安※上記割引率は、次のとおり、団体扱割引等を連算して算出しております。
一時払の場合: $1 - ((1 - \text{団体扱割引} \cdot 13.2\%) \times (1 - \text{団体扱一時払割引} \cdot 5\%))$
分割払の場合: $1 - ((1 - \text{団体扱割引} \cdot 13.2\%) \div (1 + \text{一般契約分割増分} \cdot 5\%))$

お見積りのご依頼をいただいた方全員に

1,000円相当 ボールペン プレゼント！

※既に埼玉教弘または埼玉教弘提携損害保険代理店でご契約のお車、過去に見積りのご依頼をいただいたお車は除きます。

※ 埼玉県内教育関係職員およびそのご退職者様
ご家族の方も対象ホームページからも
お見積り受付中！

埼玉教弘

検索

使わなきゃ損！



お問い合わせ／取扱代理店

(株)埼玉教弘 損害保険課

TEL 048-822-7553 (直通)

URL <https://www.kyoko.co.jp/>

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 3-12-24

引受保険会社 東京海上日動火災保険(株)



Total assist

自動車保険

(総合自動車保険)

個人総合自動車保険



クルマの保険

MS&AD あいおいニッセイ同和損保

※ 団体扱(一時払)の場合、一般契約(一時払)に比較して、保険料が5%割安です。団体扱分割払は一般契約と異なり分割割増がかからないので約5%割安となります。

※ 当団体では上記の他に、さらに、団体扱割引13.2%を適用します。この割引率は教職員のご契約台数・損害率によって毎年見直されます。また2025年3月1日から2026年2月28日までの間に保険期間の初日を有するご契約に適用されます。

このご案内は団体扱自動車保険の概要を説明したものです。ご契約にあたっては、必ず各社商品パンフレットおよび「重要事項説明書」または「重要事項のご説明」をあわせてご覧ください。また、詳しくは「ご契約のしおり(約款または普通保険約款・特約)」をご用意しておりますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。団体扱の対象となる方の範囲(契約者・記名被保険者・車両所有者)や団体扱特約失効時の取扱い、その他ご不明な点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問い合わせください。

募文 No.24TX-005331
(2025年2月承認)募文 No.B24-201982
(2025年2月承認)

セカンドライフセミナーを開催



8月8日（金）ホテルプリランテ武蔵野

当支部では、教職員の皆様へ様々な情報提供に努めています。この度、幅広い世代を対象とした金融情報の提供や第二の人生設計のために有意義な多数の情報をお伝えすることを目的として、セカンドライフセミナーを8月1日（金）、8日（金）（2会場）、23日（土）に開催いたしました。夏休み中でしたが、多くの方々にご参加いただきました。今後は、令和8年1月24日（土）ウエスト川越でも開催いたしますので、是非ご参加ください。（詳細は、共済事業（提携保険事業）提携保険会社ジブラルタ生命のLCにお問合せください）

参加者から次のような声をいただきました!!

知っているのと知らないのでは不都合等があると実感しました。早め早めに対応していくことが大切であると思いました。

早めに聞いておくといふ内容だと思いました。退職直前でよいかと考えていたところでしたが、大変参考になりました。今から考えておかないといけないことが見つかりました。ありがとうございました。

時間を見つけて、知識を身につけ本気で考えなければ、と思う今日この頃。もう遅いと思わず、今がチャンスと思ってスタートしていこうと思います。

もっともっと勉強したい!! 知りたい!! 話が聞きたい!! と感じております。

大変わかりやすく勉強になりました。まずは今日のセミナーの中でお話したことをできることから1つずつやってみたいと思います。その上で分からないことがありましたら、また担当のLCさんに相談にのっていただきたいと思います。

ご参加いただきまして、ありがとうございました。

冬休みには、ライフプランのご検討を!

ライフプランの検討をしたいと考えていても日々の業務等に追われ、なかなか時間が取れない方が多いのではないのでしょうか。

冬休みを利用してライフプランを検討してみたいはいかがでしょうか。

学校担当のLC（ライフプラン・コンサルタント）にお気軽にご相談ください。



公益財団法人 日本教育公務員弘済会（以下「日教弘」）の会員になりましょう!



ご入会は
コチラ

日教弘の会員になれるのは、当会の事業の趣旨に賛同する公立の学校・幼稚園、その他の教育機関に勤務する教職員及びこれに準ずる者、またはこれらの退職者です。会費等費用は一切不要です。

ご入会は24時間いつでも
どこでもスマホ・タブレットで
登録できます。

カンタン3ステップ登録

1



二次元コード
読み取り

2



新規登録
会員情報を入力

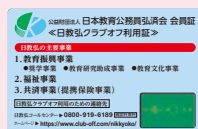
3



送信して
登録完了!!



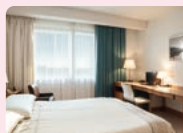
入会された方には、会員証をお送りします。会員証には、福利厚生をサポートする『日教弘クラブオフ』の利用証が付帯されます。



日教弘クラブオフは
こちら



…… 日教弘クラブオフの特典 ……



ホテルや旅館

全国約20,000施設

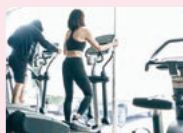
最大80%OFF



グルメ

全国40,000店以上

最大50%OFF



スポーツクラブ

全国約2500カ所以上

会員優待価格



映画館

全国約300館

会員優待価格

※写真はイメージです。

会員の皆さまへのお願い

お名前・ご住所・ご勤務先等変更の
ご連絡はこちらから



令和7(2025)年
11月28日発行

公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部
<https://www.kyoko.or.jp/>

株式会社 埼玉教弘
<https://www.kyoko.co.jp/>

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 3-12-24 TEL 048-822-7551 (代表) FAX 048-834-0550

◆ 次号 教弘会報埼玉 No.279 は
令和8(2026)年1月9日
発行予定です。